

会議の名称	平成27年度第1回小牧市特別職報酬等審議会
開催日時	平成27年12月15日(火) 午後4時～午後5時
開催場所	小牧市役所東庁舎5階 大会議室
出席者等	<p>【出席者】(会長) 栗木 鋭三、(代理者) 稲垣 喜久治、 (委員) 長田 宏、田島 亜子、丹羽 三枝子、林 和子、 水谷 幸一、村上 直之</p> <p>【欠席者】(委員) 岩田 幸恵、萩原 聡央</p> <p>【事務局】伊木市長公室長、駒瀬行政経営課長、 恒川行政経営課長補佐、坪井行政経営課人事係長、 船橋行政経営課人事係主査</p>
会議傍聴者	1名
会議内容【要点筆記】	
行政経営課長	<p>それでは、定刻になりましたのでただいまより小牧市特別職報酬等審議会を開催します。</p> <p>本日は、お忙しいところ小牧市特別職報酬等審議会にご参会いただきまして、誠にありがとうございます。また、過日におきましては、当審議会の趣旨をご理解いただき、委員就任のご快諾をいただきましたことに心より感謝申し上げます。</p> <p>会に先立ちまして辞令の交付を行います。委員を代表して、稲垣喜久治委員をお願いします。</p>
市長	～辞令交付～
行政経営課長	<p>続きまして、小牧市特別職報酬等審議会の開会にあたり、市長から皆様方に一言ご挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>本日、小牧市特別職報酬等審議会を開催するに当たり、皆様方におかれましては、公私ともにご多忙の折、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>また、平素から小牧市政発展のため、ご尽力いただいておりますことに、心より敬意と感謝を申し上げます。</p> <p>当審議会は、特別職の報酬等の額について審議するために設置さ</p>

	<p>れたものであります。</p> <p>委員の皆様におかれましては、お手元の資料等を精査、検討していただき、率直なご意見をご遠慮なく聞かせていただきたいと思います。そして、皆様方、十分に審議をしていただき、適正な特別職の報酬等の額を決定していただきますよう、お願い申し上げます。簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。</p>
行政経営課長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、お手元の名簿をご覧いただくことにより、ご紹介に代えさせていただきます。ご了承願います。</p> <p>本日の出席状況ですが、本日は岩田委員、萩原委員がご欠席となっております。また、傍聴者につきましては1名となっております。</p> <p>それでは、これから議題に移りたいと思います。</p> <p>まず、会長の選任をお願いしたいと思います。会長は、小牧市特別職報酬等審議会条例第4条第1項の規定により、委員の互選によることとなりますので、よろしく願いいたします。</p>
A委員	<p>僭越ではございますが、前回のこの審議会においても会長職務代理者を務められた経験もございますので、栗木鋭三委員をお願いしたいと思います。</p>
行政経営課長	<p>栗木鋭三委員ということですが、皆さん、いかがでしょうか。</p> <p>～異議なしの声～</p>
行政経営課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、会長は栗木鋭三委員をお願いしたいと思います。栗木委員は会長席へ移動をお願いします。</p> <p>～会長着席～</p>

<p>会長</p>	<p>ただいま皆様方の同意を得まして会長に選任されました栗木でございます。</p> <p>本審議会の趣旨である、適正な特別職の報酬等の額の決定がなされるよう、議事を進めて参りたいと思っておりますので、委員の皆様方のご協力の程、よろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが、私のあいさつといたします。</p> <p>まず、「会長職務代理者」の指定をさせていただきます。</p> <p>会長職務代理者の指定は、条例第4条第3項の規定によりますと、会長が指定することになっておりますので、私からご指名させていただきます。稲垣喜久治委員にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>～会長職務代理者着席～</p>
<p>行政経営課長</p>	<p>それでは、ここで諮問書の交付を行います。</p>
<p>市長</p>	<p>～諮問書交付～</p>
<p>行政経営課長</p>	<p>誠に恐れ入りますが、市長は他の公務がありますので、ここで退席させていただきます。</p> <p>それでは、今後の議事進行は栗木会長にお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、議事を進めさせていただきます。</p> <p>(1) 諮問事項の審議について、事務局の説明をお願いします。</p>
<p>行政経営課長</p>	<p>資料No.1から4につきましては、政令指定都市の名古屋市を除く県下37市の状況を一覧にしております。なお、市名の左にあるナンバーは市制施行順となっております、本市は19番となっております。</p> <p>資料P1の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧市の人口は153,680人で、県下では9番目。 ・市長の給料月額は1,075,000円。県下では6番目。最も給料月額

の高い団体は豊田市の1,129,000円、以下岡崎市、豊橋市の順。

- ・副市長は月額883,000円。県下では7番目。最も給料月額の高い団体は豊田市の951,000円、以下岡崎市、豊橋市の順。
- ・教育長は月額739,000円。県下では9番目。最も報酬月額の高い団体は一宮市の830,000円、以下東海市、春日井市の順。
- ・議長の報酬月額は596,000円。県下では6番目。最も報酬月額の高い団体は豊田市の753,000円、以下豊橋市、岡崎市の順。
- ・副議長は月額534,000円。県下では6番目。最も報酬月額の高い団体は豊田市の687,000円、以下豊橋市、岡崎市の順。
- ・議員は月額504,000円。県下では6番目。最も報酬月額の高い団体は豊田市の629,000円、以下岡崎市、豊橋市の順。

なお、本資料は条例本則に規定されている報酬月額による比較をしており、特例条例等による期間限定の減額措置については反映していません。

資料P2の説明

- ・職員数は1,897人。県下6番目。最も職員数の多い団体は一宮市の3,603人で、以下岡崎市、豊橋市の順。

「うち普通会計職員数」とありますが、普通会計とは地方公共団体の事業のうち病院、水道等の公営企業会計や区画整理事業等の特別会計といった団体間の設置の有無に影響されない国が定めた統一的な会計基準であります。以降の予算比較でも普通会計を基準にしておりますのでよろしくお願ひします。

- ・平成27年度普通会計当初予算は535億8百万円で、県下9番目。予算規模は概ね人口規模に比例しており、上位3団体は豊田市、岡崎市、豊橋市。
- ・27年度市税額は314億2千万円で、県下8番目。予算規模の大きな団体が上位を占めていて、豊田市、岡崎市、豊橋市の順。
- ・27年度人件費は73億8千2百万円で、県下11番目。上位団

体は、予算規模と同様で、豊田市、岡崎市、豊橋市の順。

・人口1人当たりの予算額は348,178円で、県下10番目。最も予算額の大きい団体は田原市の473,005円で、以下新城市、みよし市の順。

・予算に占める市税割合は、この割合が高ければ高いほど自主財源が多いということで、良好な財政運営ができるという意味。小牧市は58.7%で県下では9番目。最も割合の高い団体は大府市で64.2%、以下刈谷市、東海市の順。

・予算に占める人件費の割合は、これは義務的経費なので、この割合が低ければ低いほど財政が硬直化することなく弾力的な財政運営ができるという意味。小牧市は13.8%で県下では最も割合の低い北名古屋市、碧南市に次いで3番目。

・市税に占める人件費割合も低いほど弾力的な財政運営ができるという意味。小牧市は23.5%で県下4番目。最も割合の低い団体は碧南市と刈谷市で22.4%、以下、高浜市の順。

・財政力指数は財政基盤の強さを表し、数値が大きいほど財政力が強く、1を超える団体には地方交付税が交付されない。小牧市は平成24年から26年までの3ヵ年平均が1.12で県下4番目。最も割合の高い団体は東海市で1.26、以下刈谷市、安城市の順。

資料P3の説明

この表は、1ページで説明した給料月額に手当を加えた給与月額での各市の状況であります。給料月額に三役諸手当欄の地域手当の率を乗じて得た額を給料月額に加えると、給与月額になります。

- ・市長の給与月額は、1,118,000円で県下6番目。
- ・副市長の給与月額は、918,320円で県下7番目。
- ・教育長の給与月額は、768,560円で県下11番目。

資料P4の説明

議員定数は条例で定められており、小牧市は、平成27年4月1日では28人でしたが、条例改正により現在は25人となっています。

す。報酬月額、1 ページで説明したとおりです。それぞれの指数については、小牧市を 100 として各市と比較した数値を記載してあります。

- ・ 議長は、最も高い団体は豊田市で 126.3、最も低い団体は高浜市で 75.5。

- ・ 副議長は、最も高い団体は豊田市で 128.7、最も低い団体は高浜市で 72.5。

- ・ 議員は、最も高い団体は豊田市で 124.8、最も低い団体は田原市で 71.4。

資料 P 5 の説明

- ・ 本市における昭和 60 年から平成 12 年までの 3 役の給料、議員の報酬月額の引き上げ率、引き上げ額を改定時期ごとに示したもので、指数は昭和 60 年を 100 としたものの。

- ・ 改定時期については、昭和 60 年から平成 2 年までは概ね 1 年、それ以降は隔年ごとに改定されている。

- ・ 直近では平成 12 年 4 月に改定され、市長が 3 万 5 千円増で 3.4%、副市長は 2 万 8 千円増で 3.3%、教育長が 2 万 4 千円増で 3.4%、議長は 1 万 6 千円増で 2.8%、副議長は 1 万 4 千円増で 2.7%、議員が 1 万 4 千円増で 2.9% 加算された。

- ・ 平成 16 年度以降、審議会の中で開催頻度は隔年となっていたが、一般職の給与を決定する指標である人事院勧告が行われない等の事情により、開催を見送る年もある中で、直近では平成 23 年度に開催され、据え置きの方針であった。

資料 P 6 の説明

- ・ 平成 6 年から平成 26 年までの人事院勧告による国家公務員の給料改定率と消費者物価指数を表したものの。

- ・ 消費者物価指数は平成 22 年を 100 としたものの。平成 14 年度に初めて $\Delta 2.03\%$ の職員の給与改定を行い、その後平成 19 年度を除き、マイナス若しくは据え置きの改定がなされてきたが、平成 26 年度は 0.27% の改定率となっている。また、平成 27 年度の給与

	<p>会定率は人事院勧告により 0.36%の勧告が出ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の消費者物価指数は102.8である。 <p>なお、配布資料はございませんが、今年度の特別職に係る審議会の実施状況について、愛知県下の調査を行った結果について報告します。</p> <p>調査は、政令指定都市の名古屋市を除く36市に対して聞き取り調査を行いました。</p> <p>今年度、審議会を開催する市は23市ありますが、ほとんどの市が当市と同じように、現在開催中もしくは今後開催予定ということで、方向性については現時点では未定であるという市が大多数でありました。ただその中で、2市が引上げの方向で進んでいると聞いています。</p> <p>隔年開催の市も多く、昨年度は21市が開催しており、引き上げの答申結果となった市が、3役については9市、議員報酬については14市となっています。人事院勧告の影響もあり、比較的多くの市が引き上げの動きとなっています。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、事務局より資料に基づき小牧市の特別職の報酬状況について、県下の市との比較を交えて説明がありました。</p> <p>今の事務局説明について、質問などがあればお願いします。</p>
C委員	<p>説明を聞いて、小牧市は非常に財政状況が健全であるということが分かりました。</p> <p>一方で、市長、副市長の減額の話がありますが、市長はどのような意向を持ってみえるかを伺いたいのですが。</p>
行政経営課長	<p>今回、議会に市長と副市長の給与月額を3ヶ月間、30パーセント減額する条例案を提出しております。これは、市長自ら減額をするということで提出したものです。</p>

	<p>当審議会は、配布資料にもあります要綱第4条に記載された事項、つまり消費者物価上昇率、他市の給与月額、過去の給与改定状況等を考慮し、市の特別職の給料月額をどうすべきなのかを議論いただくものです。個人の月額を云々ではなく、あくまで市の特別職の月額をどうしていくかご審議いただきたいということでご理解いただきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>では、小牧市の市長、副市長及び教育長、そして議会の報酬のあり方について、委員の皆さんのご意見を伺いたいと思います。</p> <p>全員の意見を順番に伺いたいと思いますので、順番に特別職報酬額について、引上げるべき、引下げるべき、据置くべき、いずれかの方向性も含めて、恐縮ですが要点をできるだけまとめてご発言をお願いします。</p>
<p>A 委員</p>	<p>県内他市と比較すると、小牧市の特別職の給料月額は決して低いわけではありませんが、特別職の仕事は本当に激務であると思いますし、平成12年度以降ずっと変わっていないことを考えますと、ある程度引上げて良いかと思います。</p>
<p>B 委員</p>	<p>財政は本当に健全であると感じました。</p> <p>他市と比較して、平成12年度以降ずっと改定していないというのは、かなり年数も経っているので改定しても良いかと思います。</p> <p>ただ、先ほどもあったように、市のイメージにも関わってくるものだと思うので、この時期が正しいのかどうか迷うところがあります。</p>
<p>F 委員</p>	<p>市税に占める人件費の割合が県内でもかなり低く、弾力的な財政運営ができるということですが、これは一般職の人件費だけなのか、特別職の人件費も含めてなのかお伺いします。</p>
<p>行政経営課長</p>	<p>人件費は特別職も含めたものになります。</p>

F 委員	前回と比べると、順位等はどうなっていますか。
行政経営課長	平成 23 年度では、28.1 パーセントで県下 6 番目でした。
F 委員	平成 12 年度以降ずっと据え置かれていることや、経済状況もやや好転していることから、引上げの方向で考えてはどうかと思います。
E 委員	資料 No. 6 の一般職の給与改定について、前年度比較でマイナス改定もある中で、上がってきているか、下がってきているかどういう状況ですか。
行政経営課長	平成 14 年度に初めてマイナス改定が行われて以降、職員全体の平均給与月額というのは経過を見ると下がってきています。ただ、職員は基本的に毎年定期昇給がありますので、個人が貰う給与月額が下がっているというわけではありません。全体の平均を見ると下がっているということです。
E 委員	平成 12 年度以降ずっと据え置かれていることや、他市の状況も考えると、引上げの方向で考えても良いかと思います。
D 委員	私も平成 12 年度以降ずっと据え置かれていることや、消費者物価指数が上がっている点も考えると、引上げた方が良くと思います。
C 委員	財政が健全であることや、他市の改定状況も踏まえますと、引上げの方向が良いと思います。
G 委員	市議会議員も定数が 3 名減り、負担が増したことも考慮すると、引上げの方向で考えたいと思いますが、難しいのは、どの程度引上げるのかという点だと思います。これについては、事務局の方で案を作って示していただくと良いかと思います。

<p>会長</p>	<p>消費者物価指数や消費税が上がってきている中で、これだけ長い期間据え置かれているのはやはり不自然だと思います。消費税が上がった分を考慮して引上げるというのも一つの考えかと思います。</p>
<p>C委員</p>	<p>先ほど議員の話が出ましたが、市のチェック機関ということで重要な役割を担い、また、365日常に市民の声に耳を傾け、本当に一生懸命やっただけでいるので、やはり引上げの方向で考えたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>委員のみなさんのご意見を伺ったところ、一定程度の引上げが必要ではないか、というご意見が多かったと思います。引上げ幅については、人事院勧告や消費者物価指数、他市の改定状況等を参考にすることが妥当かと思います。この作業については事務局側にて行い、次回審議会で案を提示してもらいたいと思いますがいかがでしょうか。特に異議がなければ事務局は作業をお願いします。そして、次回はその案をもとに審議を進めたいと思います。</p> <p>続きまして、議事（2）その他につきまして、事務局からお願いします。</p>
<p>行政経営課長</p>	<p>熱心にご審議いただきありがとうございました。本日の審議内容を事務局にて整理し、今後の小牧市の報酬案を次回お示ししたいと思います。</p> <p>次回の日程についてですが、平成28年1月12日の午後2時から開催を予定しております。年始のご多忙の時期に恐縮ですが、ご出席賜りますようお願いいたします。事務局からは以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは以上をもちまして、本日の特別職報酬等審議会を終了させていただきます。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">（閉会）</p>